

山剣連第145号

令和3年8月11日

各地区剣道連盟会長 様
剣道関係団体 様

(一財)山口県剣道連盟
会長 中西 章
(公印省略)

主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインの改定について
(令和3年8月2日付け全剣連発出)

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から、当連盟の事業運営等に格別のご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、全日本剣道連盟では、各種大会の開催に当たって、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を策定しており、本県にあっても、同ガイドラインに沿った感染防止対策を講じているところであります。

しかしながら、変異ウイルスによる感染が急激に拡大していることから、同ガイドラインを見直し、8月2日付け改定ガイドラインが示されました。

この改定ガイドラインの中で、特に注意すべき点は、

役員・審判員・係員はマスクとともにフェイスシールドも着用する。

(審判員は、審判時のみフェイスシールドを外す)

とされているので、今後、大会を開催するに当たっては、この点について十分配意し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図っていただきますようお願いいたします。

なお、フェイスシールドは、主催者によって準備してください。

《参考》「「審査会」および「主催大会」実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインの改定について」は、全日本剣道連盟ホームページ「全剣連のお知らせ一覧」に掲載されています。